

地本業務ニュース

JR 東海労・静岡地方本部

NO.11 2023年4月27日発行者：JR 東海労静岡地方本部 半場 弘恭

「申」第5号の業務委員会開催！！

4月26日、静岡支社において「申」第5号（東静岡駅転落事故について）の、業務委員会が開催され、ぎろんしました。

会社の説明と、主な議論の内容は以下のとおりです。

1. 事故の概況と時系列を明らかにすること。

回答：令和4年9月20日（火）9時26分頃、JR東海コンサルタ
ンツの作業員は台風通過後の設備点検中に、メンテナンスデ
ッキから床板と共に約10メートル下の下り線路上に墜落し
た。9時26分頃墜落後、JR貨物の運転士がホーム上の非常
ボタンを動作させ上下線列車抑止、9時37分頃救急隊員に
よる救出及び病院搬送、11時11分頃線路及び電気設備上り
線側床板の点検完了し上り線運転再開、12時42分下り線側
床板の点検及び応急措置完了し、下り線運転再開した。

2. 死亡した作業員の勤務状況と、作業打ち合わせを含めた作業工
程に問題は無かったか明らかにすること。

回答：9月12日（月）～9月16日（金）＝日勤

9月17日（土）特休 18日（日）公休

9月19日（月）日勤 20日（火）日勤

当日の作業工程は、台風通過後における設備点検として4駅を点検する計画としていた。作業工程に問題があったとは、考えていない。

3. 事故の原因を明らかにすること。

回答：床板を止めている金具の一部が落失し、その状態の床板に受傷者が乗ったことで床板がズレた可能性があり、床板を支えている鉄骨から外れ落下したものと推定している。尚、デッキを挟み止めている金具使用・取付方法は一般的なものであり又、定期点検を実施しており設備管理に問題があったとは、考えていない。

4. 同種事故の再発防止対策を明らかにすること。

回答：東静岡駅メンテナンスデッキと同種構造の駅メンテナンスデッキ32駅について、床板の動きを拘束する対策を実施している。

組合：この事故による関係・関連会社への情報提供と、意識の共有及び安全対策について、周知徹底を行っているのか？

会社：これからも必要な教育・訓練は、定期的にも実施していく。事前のリスク管理を徹底し、充実に図っていく。

以上